

厚生年金基金資産運用業務報告書
(2021 (令和3) 年度)

厚生労働省年金局企業年金・個人年金課
2022 (令和4) 年12月

厚生年金基金資産運用業務報告書について

【概要】

厚生年金基金は、毎事業年度、年金給付等積立金の管理運用業務についての報告書を作成し、翌事業年度9月末日までに、厚生労働大臣に提出しなければならないとされている。
(厚生年金基金規則※ (昭和41年厚生省令第34号) 第56条第2項)

※公的年金制度の健全性及び信頼性の確保のための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等及び経過措置に関する省令(平成26年厚生労働省令第20号)第17条第1項の規定によりなおその効力を有するものとされた同令第1条の規定による廃止前の厚生年金基金規則(昭和41年厚生省令第34号)

【対象基金数】

5基金 (2022 (令和4) 年3月末現在)

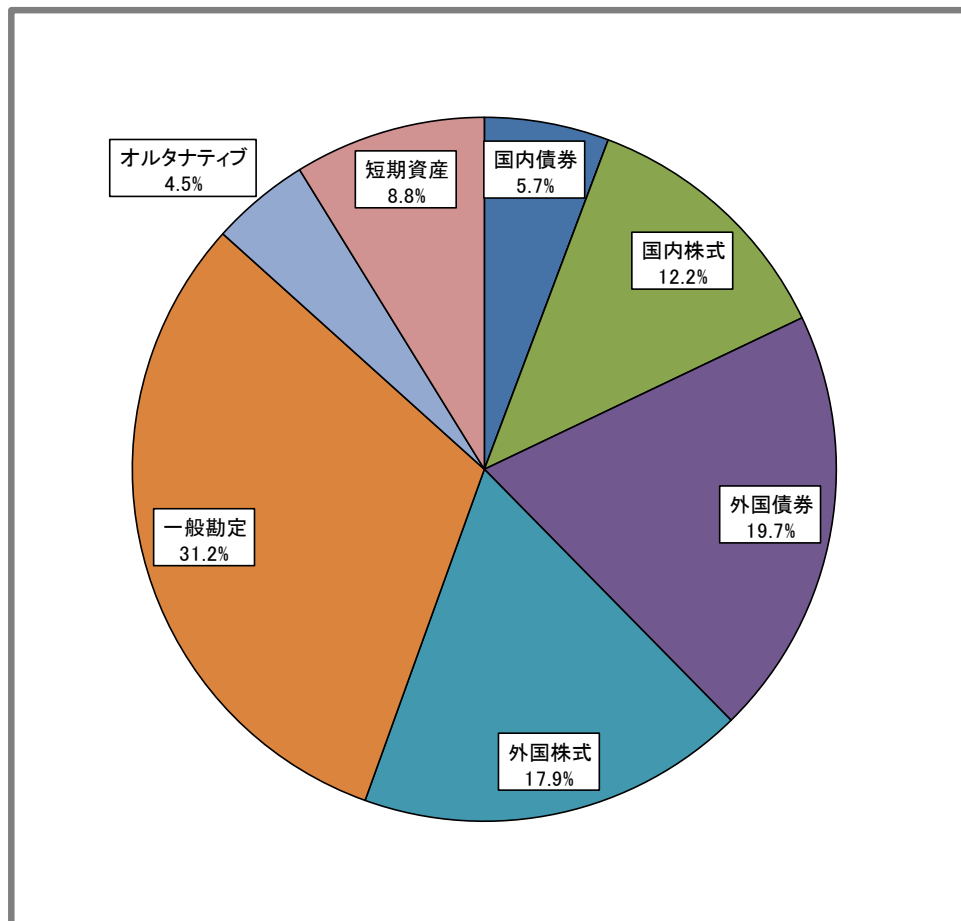
厚生年金基金の運用資産別残高及び資産構成割合(2022(令和4)年3月末)

2022(令和4)年3月末における厚生年金基金の運用資産残高総額は、1兆9,456億円(昨年度末と比べ0.01兆円の増)となりました。また、資産構成割合は、国内債券5.7%、国内株式12.2%、外国債券19.7%、外国株式17.9%、一般勘定31.2%、オルタナティブ4.5%、短期資産8.8%となっています。

【図表1】

	時価総額(億円)	資産構成割合(%)
国内債券	1,114	5.7
新株予約権付社債	—	0.0
国内株式	2,373	12.2
外国債券	3,836	19.7
外国株式	3,476	17.9
一般勘定	6,063	31.2
オルタナティブ	883	4.5
短期資産	1,712	8.8
合計	19,456	100.0

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

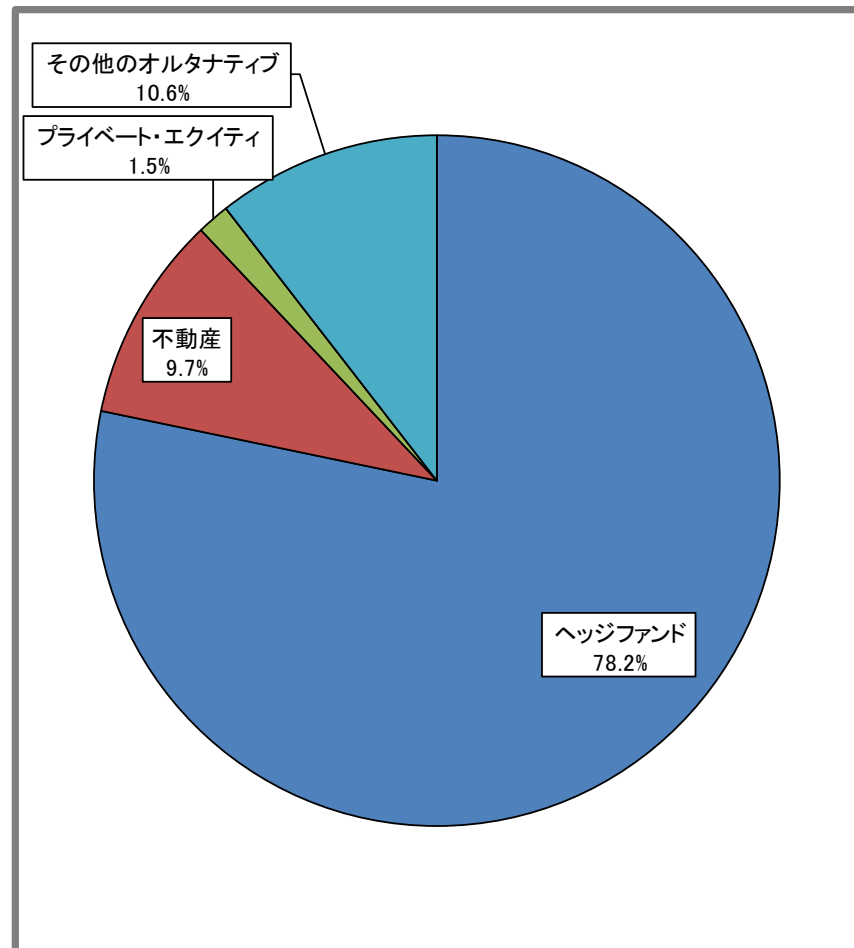


厚生年金基金のオルタナティブ投資の割合(2022(令和4)年3月末)

2022(令和4)年3月末における厚生年金基金のオルタナティブ投資の資産残高は、約9百億円となりました。そのうちの78%程度がヘッジファンドへの投資となっています。

【図表2】

	時価総額(億円)	構成割合(%)
ヘッジファンド	691	78.2
不動産	85	9.7
プライベート・エクイティ	13	1.5
コモディティ(商品)	—	0.0
その他のオルタナティブ	93	10.6
計	883	100.0



(注) その他のオルタナティブとは、ハイイールド債、CLO、CDO、インフラストラクチャー、保険リンク証券、マネージドフューチャーズ、その他が含まれる。

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

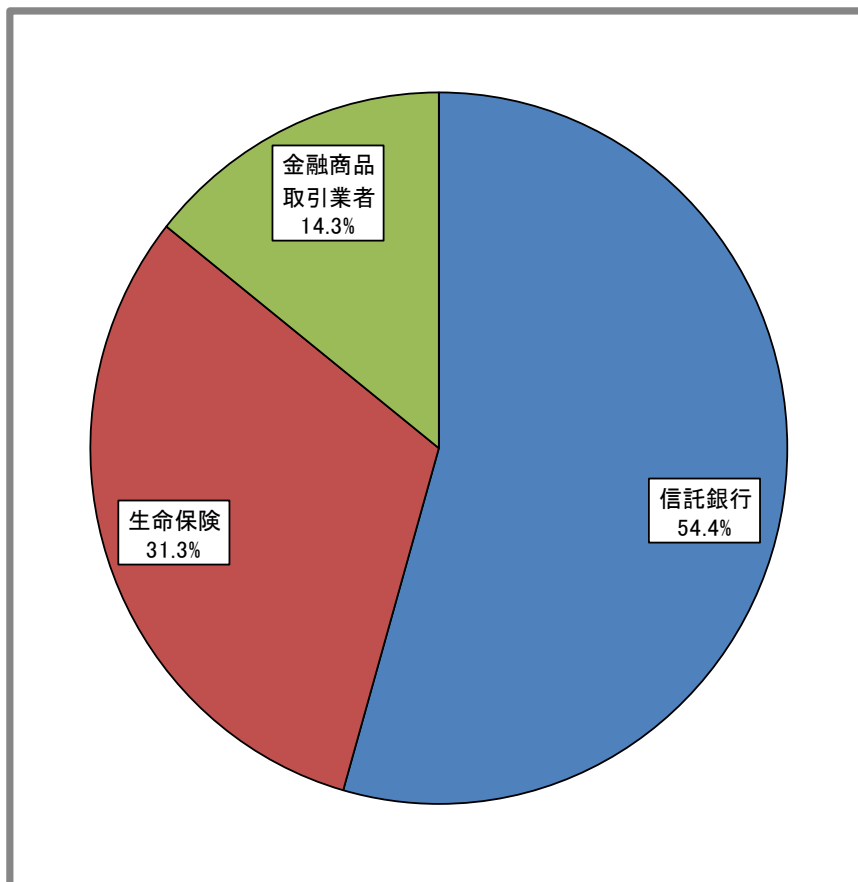
厚生年金基金の運用機関別資産残高及び構成割合(2022(令和4)年3月末)

2022(令和4)年3月末における厚生年金基金の運用機関別資産残高は、信託銀行が約1.1兆円、生命保険が約0.6兆円、金融商品取引業者が約0.3兆円となりました。

【図表3】

	時価総額(億円)	構成割合(%)
信託銀行	10,589	54.4
生命保険	6,087	31.3
(注)金融商品 取引業者	2,780	14.3
自家運用	-	0.0
合計	19,456	100.0

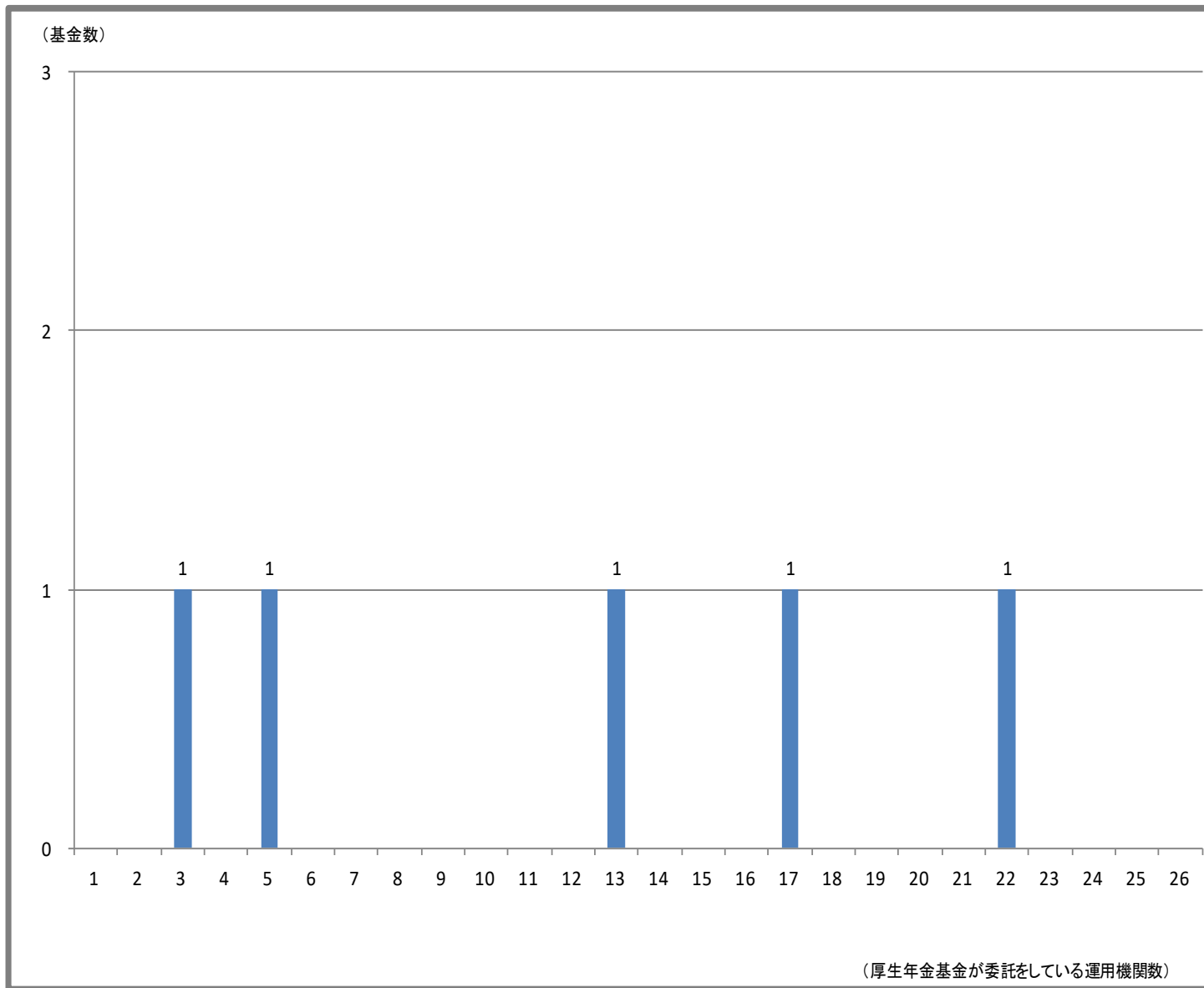
(注)投資運用業の登録を受けた投資一任業者である



※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

各厚生年金基金が委託している運用機関数(2022(令和4)年3月末)

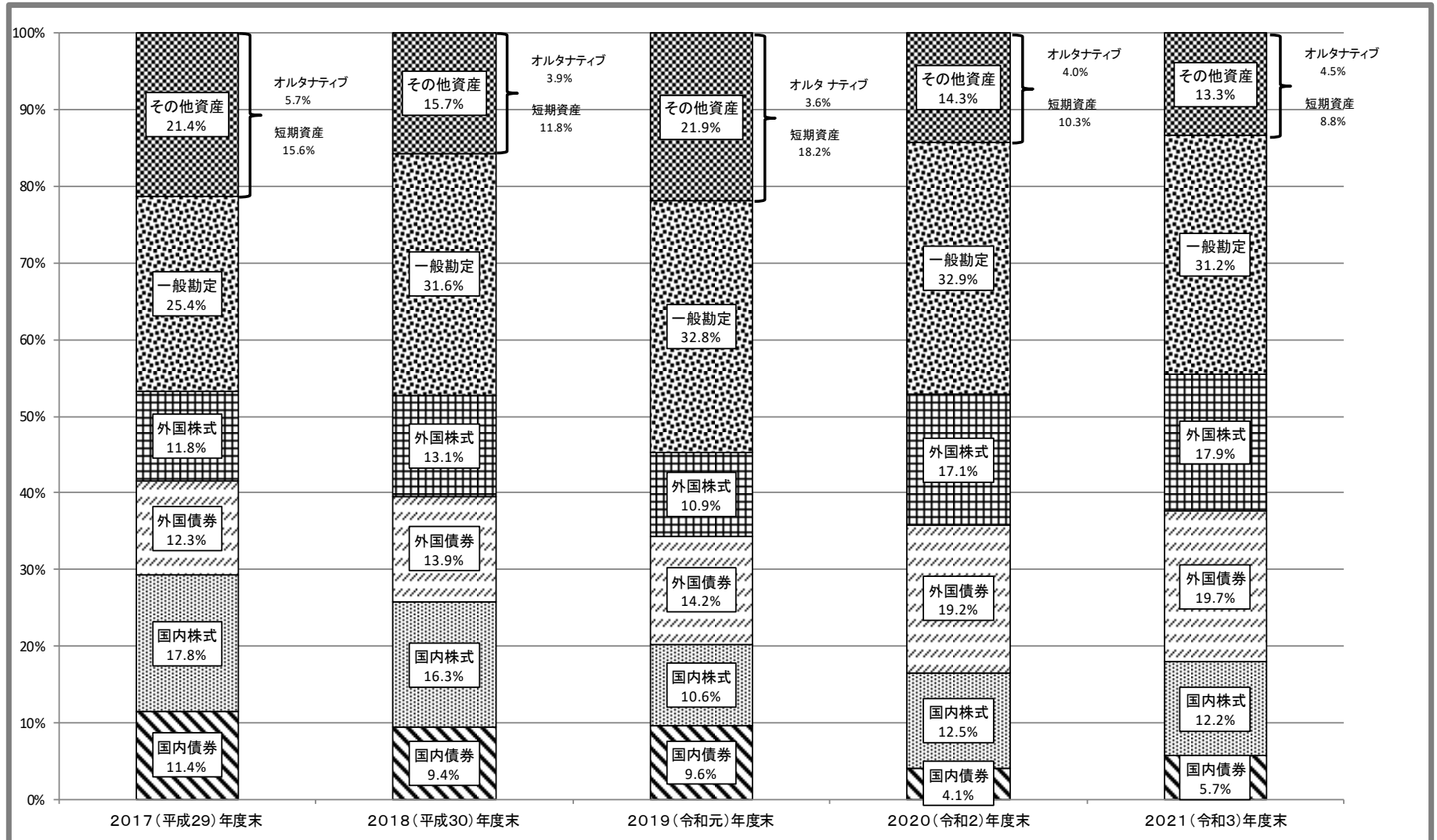
【図表4】



運用機関数	基金数	割合
1社		0.0%
2社		0.0%
3社	1	20.0%
4社		0.0%
5社	1	20.0%
6社		0.0%
7社		0.0%
8社		0.0%
9社		0.0%
10社		0.0%
11社		0.0%
12社		0.0%
13社	1	20.0%
14社		0.0%
15社		0.0%
16社		0.0%
17社	1	20.0%
18社		0.0%
19社		0.0%
20社		0.0%
21社		0.0%
22社	1	20.0%
23社		0.0%
24社		0.0%
25社		0.0%
26社		0.0%
合計	5基金	100.0%

厚生年金基金の資産構成割合の推移(過去5年間)

【図表5】(グラフ)



(注) その他資産には、ヘッジファンド等のオルタナティブ投資が含まれる。

※端数処理の関係で合計が一致しない場合がある。

厚生年金基金の運用資産残高及び資産構成割合の推移(過去5年間)

【図表5】(表)

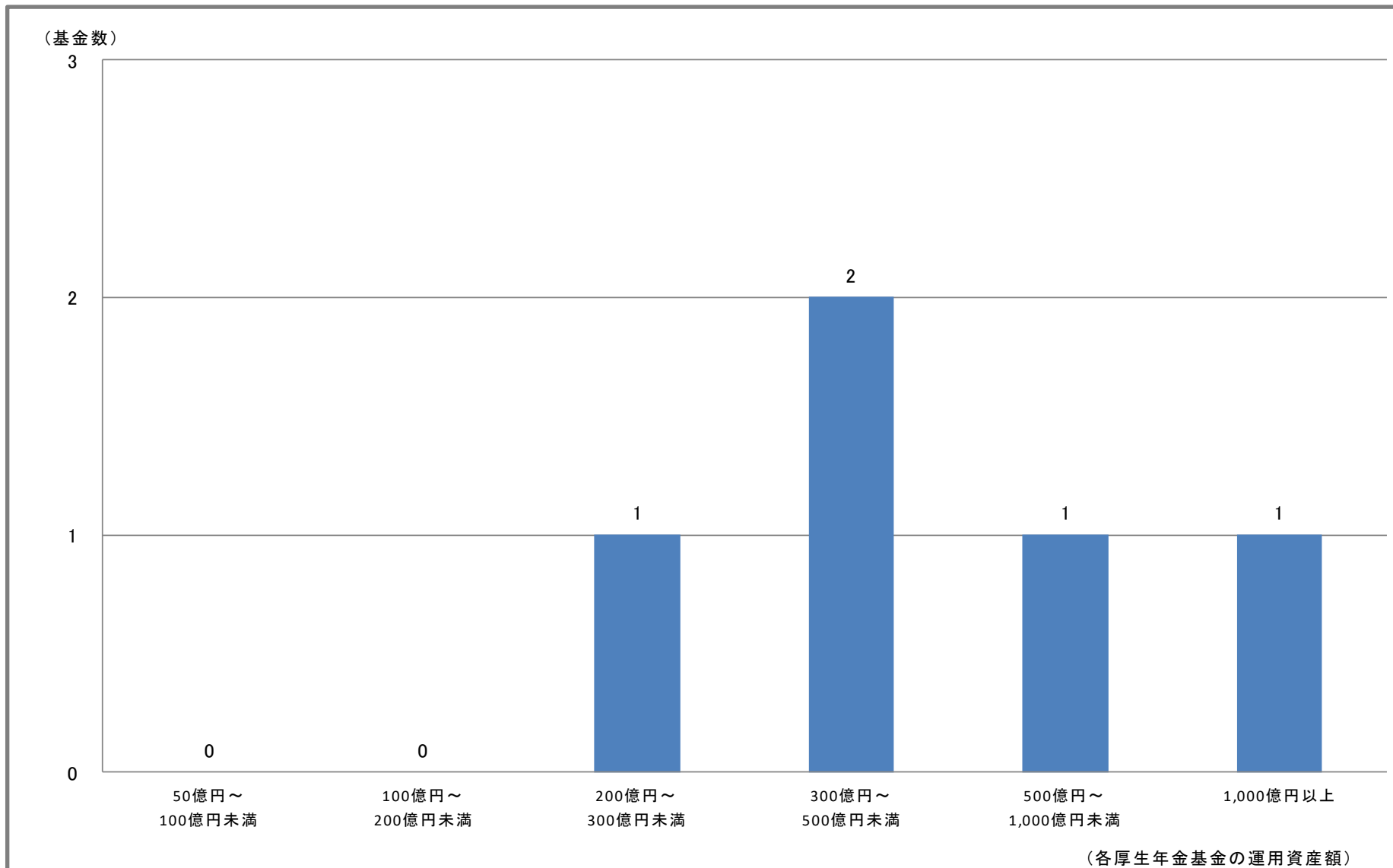
(単位: 億円、%)

	2017(平成29)年度末			2018(平成30)年度末			2019(令和元)年度末			2020(令和2)年度末			2021(令和3)年度末		
	時価総額	資産構成割合	基金数	時価総額	資産構成割合	基金数	時価総額	資産構成割合	基金数	時価総額	資産構成割合	基金数	時価総額	資産構成割合	基金数
国内債券	4,097	11.4%	35	2,127	9.4%	10	2,018	9.6%	8	795	4.1%	5	1,114	5.7%	5
新株予約権付社債	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0	0.0%	0
国内株式	6,361	17.8%	34	3,685	16.3%	10	2,249	10.6%	8	2,404	12.5%	5	2,373	12.2%	5
外国債券	4,387	12.3%	33	3,135	13.9%	10	2,998	14.2%	8	3,708	19.2%	5	3,836	19.7%	5
外国株式	4,217	11.8%	34	2,961	13.1%	10	2,299	10.9%	8	3,299	17.1%	5	3,476	17.9%	5
一般勘定	9,088	25.4%	24	7,150	31.6%	9	6,937	32.8%	6	6,344	32.9%	3	6,063	31.2%	3
(注) その他資産	オルタナティブ 2,055	5.7%	25	オルタナティブ 875	3.9%	9	オルタナティブ 770	3.6%	7	オルタナティブ 777	4.0%	5	オルタナティブ 883	4.5%	5
	短期資産 5,599	15.6%	35	短期資産 2,667	11.8%	10	短期資産 3,852	18.2%	8	短期資産 1,983	10.3%	5	短期資産 1,712	8.8%	5
資産合計	35,804	100.0%	36	22,599	100.0%	10	21,123	100.0%	8	19,310	100.0%	5	19,456	100.0%	5

(注) その他資産には、ヘッジファンド等のオルタナティブ投資が含まれる。

運用資産額規模別の厚生年金基金の分布(2022(令和4)年3月末)

【図表6】



各厚生年金基金の収益率（総合修正利回り／時間加重収益率）の分布（2022（令和4）年3月末）

【図表7】

